

建設部会視察見学会 報告書

- 開催日 平成 30 年 11 月 8 日 (木)
- 視察先 備中松山城、高梁郷土資料館
頼久寺庭園、高梁市武家屋敷
(岡山県高梁市)
- 目的 歴史的に貴重な建造物を見学する
とともに会員相互の交流を深める
- 参加者 16 名 (事務局含む)
- 主催 三原商工会議所 建設部会



本所建設部会(赤利俊彦部会長)では、11月8日(木)、備中松山城と高梁市城下町を散策しながら、高梁郷土資料館、頼久寺庭園、高梁市武家屋敷(旧埴原家・旧折井家)を巡る視察見学会を実施しました。

<当日のスケジュール>

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|----|--------|-----|----------------|------|--------------|-----|----------|-------|---------|
| 商工会議所 | -- | 隆景広場 | --- | 尾道 IC | -- | 賀陽 IC | --- | 高梁市観光駐車場 | ---- | ふいご峠・・・ |
| 8:00 発 | | 8:10 発 | | 10:00(現地バス乗換え) | | 10:20→徒歩 20分 | | | | |
| ・・ | | 備中松山城 | --- | ふいご峠 | --- | 高梁市観光駐車場 | --- | 昼食(高梁市内) | ----- | |
| 10:40/11:20(観光) | → | 徒歩 20分 | | 11:40 | | 12:20/13:30 | | | | |
| -高梁城下町(頼久寺庭園・武家屋敷・郷土資料館) | -- | 賀陽 IC | --- | 尾道 IC | ---- | 三原着 | | | | |
| 13:45/15:45 | | | | | | 18:00 | | | | |

最初に、備中松山城を見学しました。

備中松山城は、岡山県高梁市の臥牛山頂上付近の、標高 430 メートルに建ち、現存天守を持つ日本一高い山城です。

城内には天守、二重櫓、土塀の一部が現存し、国の重要文化財の指定を受けています。



備中松山城

外観は三層に見える様にデザインされていますが、二層二階、高さ 11m ほどの構築物で、現存天守 12 城のなかでも最も低い天守です。

明治維新以降荒れ果てていた天守を地元の方々がボランティアで、瓦などを背負って登り修復したそうです。(昭和の大修理)





二重櫓

天守の後方に建ち、天守同様、天然の巨石を櫓台とした二層二階の構造物です。南北と2つの出入口があり、北は後曲輪に、南は天守裏に通じています。



三の平櫓東土堀

現存する土堀2ヵ所のうちの一部が重要文化財に指定されています。構造は土を練って造った土の塊を積み重ね芯とし、その外側に漆喰を塗り仕上げたものです。

次に、高梁市城下町を散策しながら、高梁郷土資料館、頼久寺庭園、武家屋敷（旧埴原家・旧折井家）を見学しました。



郷土資料館(市の重要文化財指定)

郷土資料館(旧高梁尋常高等小学校の本館)は、木造2階建ての明治洋風建物で、樅材を使い無節柂目の良材で念入りに施工してあります。

特に階上の講堂は桃山風の豪快な二重折上格天井で、明治の気風をそのまま伝える見事ものでした。



頼久寺庭園(国の名勝に指定)

小堀遠州が作庭した名園です。愛宕山を借景に、サツキ、ツツジで大波を表現し、鶴島、亀島を配置した庭園。江戸初期の完成で、桃山後期の特徴が表れており、そのままの姿で保存されているのも貴重です。

旧埴原家(市の重要文化財)

寺院建築や数奇屋敷風の要素を取り入れた珍しい造りです。



旧折井家(市の重要文化財)

格式のある書院造りで、母屋と漆喰壁の長屋門からなる美しい建物です。



参加者からの声 現地ガイドさんの説明を受けながらの視察は解りやすく非常に良かったという声をいただき、有意義な視察見学会となりました。